

## 令和3年度第2回月形町地域拠点施設整備等審議会の開催結果

開催日時 令和3年8月18日（水）午後5時30分～午後7時45分  
開催場所 月形町役場大会議室  
出席委員 出席委員14名 欠席委員2名（別紙出席者名簿のとおり）  
傍聴者 なし  
月形町 上坂町長、堀副町長、五十嵐課長、竹内課長補佐、新道係長、山本

### 1 開会 五十嵐課長

### 2 挨拶

（上坂町長）昨年2月に地域拠点施設整備、皆楽公園周辺施設整備、そして道の駅の整備について、答申をいただきました。

審議会の皆さんが、真剣に議論をしてきた姿を月形の未来を担う子どもたちに見せていただいたことに対し、本当に感謝を申し上げます。

私は、信頼している本審議会から提出された答申に沿って、しっかりとやっていきたいと思っております。

今回新たに委員になられた方について、2年間の任期を引き受けてくれたことに感謝を申し上げます。前任期では、町外の方にも委員になっていただいていたのですが、このようなご時世でありますので、町内のそれぞれの立場の方に委嘱をしました。大変大きな課題に対して議論し、意見を述べていただきたいと思っております。

答申いただいた内容を基に、4月から設置しましたまちづくり推進室をはじめ、役場全体で横断的にこれからのまちづくりについて検討してきました。また、各団体との意見交換を経て、町の主要事業の方針を大方固めることができましたので、そのことについて、私の方からご説明をし、細かなところは後ほど担当からご説明いたします。説明後は、皆さんから忌憚のないご意見を頂戴したいと思っておりますので、よろしく申し上げます。

### 3 委員紹介

### 4 会長及び副会長の選出について

### 5 議題

#### （1）町の主要事業について

（上坂町長）町の主要事業について、細かいところは担当から説明しますが、大枠についての説明は私の方からいたします。

まず、地域拠点施設の整備についてであります。地域拠点施設については、今後のまちづくりにおいて最も重要なものであると認識して

います。「みんなが立ち寄り集う地域の安心と賑わいの空間」として、国道沿いにある月形小学校及びグラウンドを活用して、答申を基に整備を進めていきます。小学校の校舎を活用しますので、経費の節減を考慮し、新たな建物の建設はしない方向で考えています。グラウンドにつきましては、町内外の方が利用できる商業施設を、民間による整備を推進し、駐車場や屋外広場等も併せて整備し、憩いの場として活用していきます。また、公共交通のターミナルにつきましてもこの場で整備していきます。

地域拠点施設は、最優先に取り進めていきたいと思っておりますが、小学校の移転が必要になります。中学校に併設する形で教室を建設すればよいという話にならず、小中一体という中では、カリキュラムの在り方や学校の体制など様々な課題がありますので、保護者の皆さんや先生方のご意見をお聞きし、慎重に整備を進めていかななくてはなりません。町民の方からは、いつ拠点施設やバスターミナルができるのかという声をお聞きしますが、地域拠点施設の整備は小学校の移転と同時に進めていかなければならず、整備に要する費用の検討等もあります。現在、町では重要課題をいくつも抱えています。財政面や人口減少など厳しい状況もあり、時間を要することを町民の皆さんにもご理解いただきたい。

地域拠点施設を役場内で検討する中で、小学校にエレベーターを付けて、1～2階を各団体の事務所にし、体育館を文化交流などができるところにし、3階はサービス付き高齢者住宅にしてはどうかという話もしました。3階からは円山展望台や皆楽公園などを一望でき景色もよく、非常に良いと思っておりましたが、そこまでできるかはわかりませんので、まずは町民の憩いの場となる地域拠点施設の整備を進めていきます。

続いて、町民保養センター等の改修と道の駅整備についてです。月形温泉と温泉ホテルは老朽化が著しく、また、施設も順次増築という形で整備されたこともあり、とても非効率な管理運営を余儀なくされている状況にあり、一日も早い改修が必要と判断しているところです。

月形温泉ができたころは、温泉がある町は少なかったですが、今はいろいろなところで温泉ができており、当初から状況は変わっていると思う方もいるかもしれませんが、月形町は町民の保養を目的とすることをしっかり守っていきたくて考えています。現施設の建屋を大きく変えることなく、温泉、ホテルのフロントの一元化や管理運営の効率化、ホテル客室の改修により収支の改善を図っていきます。

月形に用があるため遠くから来ても、泊る所がない。そんな町ではいけないと思っておりますので、サービス向上となる改修を図っていきます。

レストランについては、多額の費用がかかるため一時休止としてき

ましたが、この改修に合わせ再開できるように準備をしていきます。

温泉駐車場にあるトイレについては、道の駅登録要件を満たす規模で新たに設置します。

温泉については、太陽光をはじめとする再生可能エネルギーを活用し、費用の縮減を図り、既存温泉施設を取り壊さないでよかったとなるような改修をしていきます。

道の駅の整備について、審議会の答申では具体的に整備地の明示はありませんでしたが、町民の方からは国道沿いの小学校に拠点施設ができて、道の駅も一緒に造った方がいいと意見もありますけど、私はそのような結論は出していないと認識しています。道の駅の整備場所は皆楽公園と中心市街地のどちらが適当か検討してきました。昨今の道の駅は、非常に高額な建設費をかけ整備しているところが見受けられますが、皆楽公園が有する広い駐車スペース、温泉や宿泊施設、キャンプをはじめとするアウトドア機能を有効に活用し、一部不足する情報発信や防災機能を加えていきたいと考えています。こうした情報発信や防災機能は、皆楽公園において必要な機能でもあるため、機能、設備の充実は、道の駅と共通化できるものであり、より効果的にその機能を発揮できるものと考えています。

町としては、審議会における審議経過や町内各団体などからの意見を参考に、道の駅の効果や地域の活性化などについて比較検討をいたしました。地域拠点施設での道の駅整備については、国道沿いという最大のメリットはありますが、地域拠点施設としての本来の役割、整備までに時間を要することが課題です。一方、皆楽公園エリアは、町の観光拠点として位置付けており、既存施設を有効活用することで道の駅の整備が早くでき、観光施設の活用に伴う相乗効果を期待できるものと考え、道の駅の整備は皆楽公園としたところです。

町民保養センター等の改修については、4月の第1回の審議会で説明がありましたが、道の駅を皆楽公園での整備ありきではなく、必要な機能を皆楽公園で備えていき、道の駅の持つネームバリューのメリットを十分活用し、町の観光振興を推進していきますので、このような考えについてご理解をいただきたい。

次に旧 JR 鉄道跡地である石狩月形駅周辺の整備であります。このことについては、審議会の協議案件ではありませんでしたが、新たなまちづくりのスタートとして、本町の主要事業として、地域拠点施設と同じ中心市街地の整備ということで関連がある事業ですので、皆さんからご意見をいただきたい。駅周辺は、町民の憩いの場として、鉄道レガシーを継承する公園として整備し、また、これまでも要望がありました赤川地区と市北地区を結ぶ町道整備を行っていきます。一方では、85年余りの歴史を有する駅舎は、博物館などと同じく残しておくべきという声もありましたが、今現在、また、これから月形町に

住む人の利便性などを考えたとき、利用しやすい道路整備が必要と考えており、石狩月形駅舎については、解体するという決断をしました。

以上、3つの大枠について現段階での町の方針をご説明いたしました。

○地域拠点施設の整備について（竹内課長補佐より説明）

（加藤委員）温泉施設に道の駅を整備した場合に盛り込む機能と地域拠点施設に盛り込む機能が一部重複するものがあるのではないかと。また、追加したい機能としてレジデンスとインキュベーションがある。レジデンスは「住まい」という意味で、1～2泊程度の宿泊ではなく、長く月形町に関わることができるよう、中長期的に滞在できるような場所、そういった機能があればよいと思う。道内の自治体では、起業したい人のチャレンジを支援する取組をやっているところがあるので、月形町でもこのような考えはあるのか。インキュベーションは新しく立ち上がろうとする企業等に公的団体から支援をするというもので、例えば、新たに事務所等を置く前に、仮事務所を2～3年は格安で貸し出すとか、月形町で新しく起業したい人などに利用してもらえるような機能はできないか。

（竹内補佐）先の審議会では、企業の支援や移住定住などのワードは出てきましたので、これから基本計画等を作っていく中で、将来的に月形町に移住してくる人、地域で起業できるような内容を盛り込むことも検討する。

（松山委員）町長から審議会や町民から意見を聞いて進めていくと、力強く方針を述べられたことに大変うれしく思っている。先日の団体意見交換会の場で、地域拠点施設の整備には時間を要するとお話があったが、町民は地域拠点施設のような、みんなが集う場をすごく期待している。今、町内を見渡してもそういった場所はない。時間がかかるのであれば、完成までの間、代替機能を有する場は必要だと思う。

（五十嵐課長）地域拠点施設の話は5年ほど前から、町民の集う場がない、買い物などの課題から出てきた案件である。完成までの間の代替機能を有する場というのも考えていく。

（梅木委員）今期の審議会は答申をするわけでもないのですが、目的はなんなのか、何回やるのか、審議会で協議した内容をどう活かすのか教えていただきたい。

（堀副町長）これまで各団体から意見をもらい、8月19日には未来考える委員会を開催して意見をもらう予定である。主要事業に係る町の方針を9月の議会で示していきたいと考える。それまでに各団体、審議会などから意見をもらい、基本方針としていきたいと考えている。

（梅木委員）農協や商工会などの各団体から意見をもらう、その一部の団体として考えてよいか。

（堀副町長）よい。現在、町の方で意見を求めるそういった機関がないので、審

議会からもらう意見を集約して基本計画策定に活用したいと考えている。

(梅木委員) 地域拠点施設、道の駅もそうだが、コストを出さないと比較などができない。イニシャル、ランニングの算出は必ず必要で、そのデータをもって整備するか判断できる。今の状況では結論できないのではないか。詳細に出すことが難しいのであれば、概算でもいいので出すべきだと思う。

また、10、20年後に町を支えるのは今の10～30代の人たちで、その人たちに意見を聞かないといけない。主要団体と意見交換しているということだが、その場には50代以上の人がばかりだと思う。若い世代が将来、なんでこんな建物を建てたのかとならないようにしなくてはならない。

拠点にしる、道の駅にしる、人口が減っている中で税金も減り、今後維持できるのか、負の遺産とならないようにする必要がある。

(堀副町長) 温泉改修の基本計画を策定しているが、コストについては、基本的な方向が固まって、そのうえでどうするかを決めるときに、コストの比較をする。

広い世代へ意見を聞くことについては、改修の方向性がある程度決まって、細部のところまで計画が出来上がった段階で、広い世代になるかわからないが、毎年行っているまちづくり懇談会などで意見をもらう。

(梅木委員) できるだけ早くコストを出した方が、手遅れの段階でやるしかないという状況になったら困るので、早急に対応願う。

まちづくり懇談会は若い人は来ないと思うので、新たなかたちで意見をもらうことができればいいと思う。

(本多委員) 校舎の中に図書館やバス待合所などが全て入るという計画でいいか。最初の計画では、グラウンドに建物が建つイメージがあったが。

(竹内補佐) 審議会では校舎も含めて観光機能も共用できるような地域コミュニティ施設と学校施設が並ぶというイメージで答申があった。答申を踏まえて、小学校の敷地をどう活用していくか議論していく中で、皆さまから意見をもらい、機能を網羅し、新たな建屋だけで足りるのかというところが課題となった。また、公共施設管理計画には、将来的に公共施設の面積を減らしていくという大方針があり、建設費やこどもの数などの問題も出てきた。施設を有効活用するという一方で、グラウンドは民間活力で、施設機能も校舎の中で足りるという考えで提案している。今までは、イメージと平面でしか見ていなかったもので、そこをしっかりと煮詰めて本計画を策定し、本当に必要な機能を絞り込んでいく。審議会でも提案した条件とはこういった経過を含めて若干変更となっている。

(本多委員) 月形小学校は現在築40年くらいだと思うが、スケジュールどおり

に進んでいくとオープンしたころは築45年と、今後の改修費用が多くかかってくることが予想される。費用を抑えるため、体育館や3階は使用しないなども考える必要がある。

(竹内補佐) 月形町のコンクリート造の公共施設は、改修が必要となる時期に入ってきている。公共施設管理計画の中で、長寿命化や延命などの対策を取って、更新していかななくてはならないので、どう有効活用できるか検討していく。

○町民保養センター等改修について (竹内補佐から説明)

○道の駅の整備について (竹内補佐から説明)

(香西委員) 道の駅と地域拠点施設の検討はとても大変だったかと思うが、今回の説明の中では、審議会で協議してきた内容がどの程度反映されているのか。今日も審議会で集まっているが、意見を出しても何も反映されないのでは思っており、今日の説明は報告ということだと思うが、その前に審議会などに比較検討する場をつくってもよかったのではないか。

月形温泉に関しても、道の駅にするということだが、今までも道の駅のような役割を担ってきて、野菜販売などもされている。この内容で進めても誘客は難しいのでは疑問が残る。

拠点施設に関しても、道の駅とセットで話をしてきたと思うが、拠点施設のみではたして賑わいができるのか。

もう少し検討できる場などがあってもいいのではないか。

(五十嵐課長) まず2案を示して、比較してもらおうということもいいが、審議会からの答申では、審議会でも判断が難しく、道の駅については決めきれなかったとので、町の方で最終決定をしてほしいという認識で受け止めていたので、今回このような報告となった。

拠点施設の賑わいについては、町民が集う場所というのがスタートである。商業分野では具体的な案はまだないが、グラウンドに商業エリアをつくっていきたいと思っている。そこで、町民の方が買い物をしていけるよう民間の活力により整備をしていただきたいと思っている。

この審議会で検討していくと半年以上の議論時間がかかるので、この場は意見をもらうことでお願いしたい。

(梅木委員) 温泉施設について、ハードの改修は別として、収益を上げるうえで経営者がとても重要になってくる。今は副町長が代表取締役で、町職員が1人出向して業務を行っているが、それでは限界で、道の駅として改修したとしても町で経営すると収益をあげることはできないと思う。10年、20年後はかなりの負担となるのは確実。経営者を外から連れてくるなどして経営を変えていかないといけない。

(堀副町長) 温泉施設は町の施設なので、指定管理者には包括的に管理してもら

っている。町で直営もできるが、今は指定管理者として振興公社にやってもらっている。道の駅整備後の運営については、決まっていないが、委員のお話も考慮して検討していく。費用の圧縮は引き続きしっかりやっていく。

(梅木委員) レストランを休止して、費用を圧縮していることはいいことであるが、収益を上げることがなにより重要であると思う。温泉施設というのはもっと収益を上げる方法があると思うので、今から何かしら手を打っておかないと、また赤字の垂れ流しになってしまう。だから、民間からピンポイントで経営に携わっている人を連れてくるなども考えてほしい。

(松山委員) トイレの場所について、どこに設置するのがいいかわからないが、もう少し考えてもらいたい。キャンプ利用の人も使いやすい場所がいいのか再検討を。

(竹内補佐) トイレの位置はとても重要で、設置場所によってはトイレ利用のみで帰ってしまうこともあるので、施設の利用に繋げていけるように考えなければならない。しかし、景観や安全面等も考慮しなくてはならないので、計画の中でしっかり考えていく。

○旧 JR 鉄道跡地（石狩月形駅周辺整備）について（竹内補佐から説明）

(加藤委員) 石狩月形駅周辺と拠点施設の憩いの場という名目では内容が重複している。駅周辺は手狭とを感じるが、何を造るのか。また、同じ整備内容にお金をかける必要があるのか。2つの地点がある程度離れていれば整備してもよいと思うが、拠点施設に遊具等があれば駅周辺は必要ないと感じる。

(竹内補佐) 資料にある金額については、1億円と高いものとなっているが、石狩月形駅周辺の土地は見た目以上に面積があり、緑化するにしても草を生やすだけでの整備とはならず、ある程度の工事は必要となり、費用も掛かってくる。ほかの事業との優先度を考えるともっと精査してやっていくことになる。また、遊具整備などについても近距離で同じようなものを整備することは効率も悪いため、差別化をするなり、機能を分けるなりさらに検討が必要と考えている。

## (2) その他

○主要事業のスケジュールについて（竹内補佐から説明）

(福井会長) 先ほど梅木委員、香西委員からもあったが、ここで意見等を述べても何かが変わることはないかもしれないが、この審議会はいろんな世代が委員となっている珍しい会だと思う。このような会でも意見はしっかり述べてもらうことは重要なので、次回以降も参加願う。

(上坂町長) 長時間にわたって、ご参加いただきありがとうございます。会長からもありましたが、これまでの審議会とは違いますが、まちづくりを進めていく中でとても支えになっています。役場から協議したいことがない時でも会長の判断で開催してほしいと思っています。

出前町長室で小学校にいったとき、児童から道の駅をつくってほしいと言われ、子どもたちも期待していると感じています。将来、月形町を支える若い世代にも広く意見を聞いていきますし、何かあればいつでもまちづくり推進室へご意見を出していただきたい。また、こちらからもの情報提供もしっかり行っていきますので、一緒にまちづくりを進めていきたいと思っています。今後もよろしくお願いします。



月形町地域拠点施設整備等審議会委員名簿

委嘱期間 令和3年7月1日～令和5年6月30日

NO	委員区分	所属等	役職	氏名	出欠
1	条例第3条第2項の1号委員 ※町の区域内の公共的団体及び 関係機関の会員又は職員	月形商工会青年部	部長	香西 雅之	○
2		月形商工会女性部	部長	廣野 いづみ	○
3		月形町農業協同組合	専務理事	福井 誠	○
4		月形町農業協同組合女性部	代表監事	中村 三賀子	○
5		社会福祉法人月形町社会福祉協議会	主任	齋藤 貴子	○
6		月形町老人クラブ連合会	会長	西山 雅俊	○
7		月形観光協会	副会長	廣野 和男	○
8		月形町PTA連合会	会長	松浦 朝太郎	×
9		月形町赤十字奉仕団	委員長	松山 俊子	○
10		NPO法人 コミュニティワーク研究実践センター	相談支援員	熊倉 なみ	○
11		市北行政区		高畠 康典	○
12		月形刑務所	矯正処遇官	本多 大輔	○
13		社会福祉法人雪の聖母園	生活支援員	鳥潟 慎太郎	○
14	条例第3条第2項の2号委員 ※識見を有する者	月形町社会教育委員会	委員長	伊藤 格	×
15	条例第3条第2項の3号委員 ※公募による者	会社員		梅木 悠太	○
16		農業及びフリーランス (IT、翻訳通訳、 販促、デザイン、文書校閲等、各種業務 受託)		加藤 由紀	○